

## 町の無料相談

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	8/13(火)、8/26(月)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313 (要予約)
	行政書士	8/21(水)	10:00～15:00	役場会議室	役場総務課☎④313
人権・行政相談	8/8(木)	13:30～16:00	役場会議室	役場総務課☎④313	
成人健康相談	8/2(金)	9:30～11:30	役場町民ホール	保健センター☎049(294)5511	
電話健康相談	平日	9:00～17:00		保健センター☎049(294)5511	
育児ほっと相談室	8/1(木)	10:00～11:45		保健センター☎049(294)5511	
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00～12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎049(295)2112 ④126	
子育て相談 なんでも話してみよう	8/9(金)	10:00～11:00	役場相談室	子育て支援センター ☎049(294)4820	
	8/23(金)		子育て支援センター		
教育相談	平日	10:00～16:30	教育センター☎049(295)2525 (電話相談可)		
心配ごと相談	毎週水曜日	10:00～12:00	社会福祉協議会(ウイズもろやま内)☎049(295)3111		
消費生活相談	毎週火曜日	10:00～15:00	役場相談室	役場産業振興課☎④214	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30～17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (ウイズもろやま内)☎080-2274-1445		

## 歴史散歩

第302回

渋沢栄一の  
毛呂村訪問

今年の4月9日、2024年の上半期から流通する紙幣のデザインが変更されるという発表があり、新一万円札に埼玉県の偉人渋沢栄一が描かれることが決まりました。この発表を受け、近代産業の父、渋沢栄一の業績に改めて注目が集まっています。

渋沢栄一は、天保11年(1840)に血洗島村(現在の深谷市)の藍の取引を行う豪農の家に生まれました。幼少期より家業の藍玉販売を通して商才を培った栄一は、青年期に仕えた一橋徳川家に随行して訪れたヨーロッパで産業活動や企業の活躍を学びました。この経験を活かし、明治・大正時代には銀行や製造業など多くの企業設立に関わり、日本の経済・産業発展に大きく貢献しました。

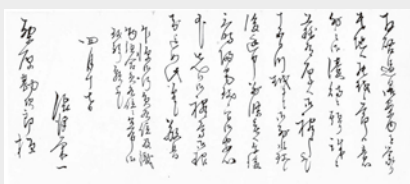
生まれ故郷の埼玉とのつながりが深い栄一は、明治45年(1912)には毛呂山を訪れたことがあります。

当時の栄一の記事には、4月14日に人間郡銀行会の招きを受けて越生町を訪れ、越生尋常高等小学校にて銀行関係者や織物業者向けの講演を行ったと記されています。越生町には、明

治29年(1896)に毛呂村と越生町の有志5名が発起人となり設立した越生銀行があり、銀行設立に栄一は援助を行っていました。

越生町を訪れた翌日、栄一は毛呂村有志の招きを受け、出雲伊波比神社と毛呂尋常小学校を表敬訪問しました。栄一の毛呂村訪問をはたらかけた人物の一人が、当時毛呂村会議員をつとめていた栗原勘次郎です。栗原勘次郎は、長瀬の豪農の家に生まれ、越生銀行設立に携わった一人です。栄一を毛呂村に招いたのは、越生銀行設立時に栄一にお世話になった勘次郎の感謝の表れだったのかも知れません。

栄一の毛呂村滞在は短い時間でしたが、勘次郎は翌日から大阪で行われる会合に向う栄一を川越まで見送りました。毛呂村でもてなしに感激した栄一は、翌々日の17日に勘次郎に宛て御礼の手紙を送っています。栗原家に伝わる渋沢栄一からの手紙には、毛呂村訪問でお世話になった人々への感謝の気持ちが記されており、多忙ななかでも感謝の気持ちを忘れない栄一の優しさが伺われます。



栗原勘次郎の肖像画と栗原家に伝わる渋沢栄一からの手紙(『栗原家文書』より。7月末まで歴史民俗資料館にて公開中)

# 水道事業を考えよう

未来へ引き継ぐ 安全で頼れる水道をめざして



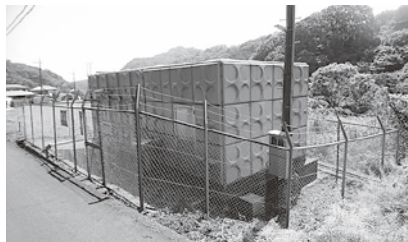
☎ 水道課浄水場係 ☎ 049(295)2112 ④ 168

## 老朽化している水道施設について

毛呂山町の水道は昭和40年に金塚浄水場より給水を開始して、昭和47年には苦林浄水場の給水が始まりました。その他にも、大谷木浄水場や山間部の施設として各中継場及び配水場が順次整備され、昭和63年にはほぼ現在の配水区域が整備されました。



昭和52年当時の水道工事の様子（滝ノ入地区）



阿諏訪第1中継場。昭和61年度整備されたもの。山間地にはこのような中継所・配水場が多くある。



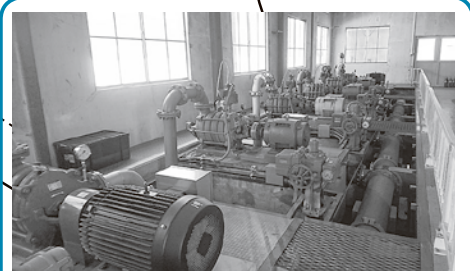
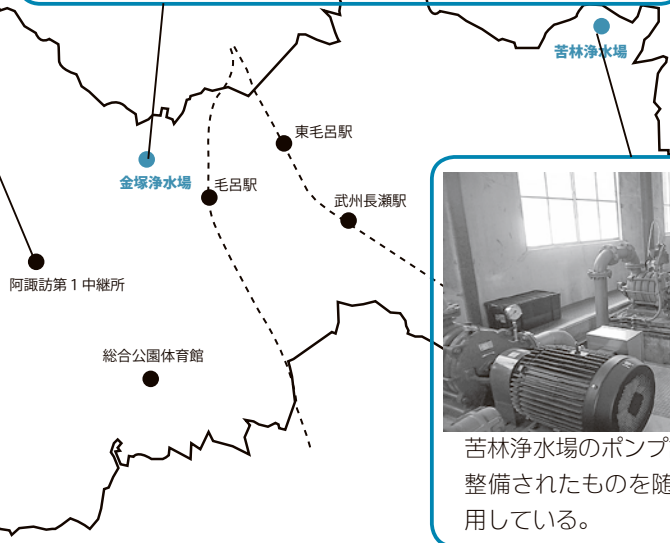
金塚浄水場。昭和40年度に広域簡易水道として発足。平成15年に大規模な施設の改善や水道管の入替工事を行っている。



大谷木浄水場。昭和55年に整備された。もともとは地区の簡易水道施設であった。



大谷木浄水場の水源。山間の沢（3か所）から取水している。



苦林浄水場のポンプ設備。昭和47年に整備されたものを随時改修しながら使用している。

水道の施設には、水道水を作るための浄水設備、塩素を注入するための設備、水を送るためのポンプ設備、これらを制御するための電気設備などがあります。

毛呂山町には、30年以上を経過した水道施設が数多く残っており、全ての施設について、毎年整備・点検は行っていますが、様々な故障が年々増えてきている状況です。

また、最近では地震や豪雨等による自然災害が多くなっていることから、災害に強い水道施設が求められています。大規模な災害が起きた際に給水が停止しないためにも、これからも設備の整備・点検に加え老朽化施設の更新工事や耐震診断を行っていき、皆さんに安心安全な水を供給していきます。